

学位申請の手続き等（乙）

乙号申請者（論文博士）

*申請時期は随時。

*本学の課程博士の審査が集中する時期（7～9月及び11月～3月）は、乙号申請者の審査を延期する場合がある。

*申請資格

外国語試験に合格した者で、次の①～③のいずれかに該当する資格を有している者

①医学又は歯学の課程を修了した者で、基礎医学では5年以上、臨床医学では6年以上の研究歴を有するもの

②医学又は歯学の学部以外の卒業生又は大学卒業生と同等以上の学力を有すると認められる者で、7年以上の研究歴を有するもの

③大学院に4年以上在学し、所定の単位を修得したのみで課程を修了することなく退学した者

上記に加えて、いずれかに該当する者

① 本学の卒業生

② 本学の専任職員（産業医学修練医、歯科研修医及び専修医を含む）

③ 本学の研究生又は派遣研究員の期間が1年以上あるもの

申請書類	部数	注意事項
学位申請書 様式第1号（乙）	1部	<u>申請日（右上の日付）は記入しないこと。</u> 事務的な確認後に記入となる。
学位論文（別刷）	5部	①権威ある内外の学術誌に公表されたもの。 ②共著論文の場合は、筆頭著者であること。 ③掲載受理証明書があれば、原稿でも可。 ④学位論文に補足情報(supplementary information)がある場合は、学位論文に添付すること。 ⑤論文審査合格後、国会図書館、本学図書館及び大学院保管用として別途別刷りを3部（計8部）提出すること。
論文要旨 様式第2号	5部	①日本語、横書きで作成すること。 ②指導教授と十分打ち合わせること。 ③研究の目的、方法、結果、考察、結論の順に記入のこと。 ④日本語でA4用紙1枚1500字程度にまとめて記入すること。 ⑤題名が欧文の場合（）書で和訳を付すこと。
論文目録 様式第3号	5部	①題名が欧文の場合（）書で和訳を付すこと。 ②共著の場合、著者名は全員記載すること。共著者名等のスペル誤りが多いので注意すること。 <u>書式は変更しないこと。</u> ③参考論文は必ず1編以上記載すること。 ④学位論文及び参考論文の著者名は省略しないこと。また、自身の名前の下線を引くこと。
参考論文（別刷）	各5部	①学位論文の内容を補足するため、自己の研究成果を表明できるもの。 ②参考論文は1編以上で、 <u>論文目録に記載したものの別刷りは全て提出すること。</u> ③別刷りがなければ、コピー可。④筆頭著者でなくてもよい。
履歴書 様式第4号	1通	大学入学から記載。本学の産業医学修練医（前期課程）、産業医学修練医（後期課程）の名称には注意すること。出向・派遣歴も記載すること。

申請書類	部数	注意事項
承諾書 様式第5号 (共著論文の場合)	各1通	共著者の分担部分について簡潔に記載してもらうこと。共著者の住所は勤務先住所ではなく、 現住所を記載 してもらうこと。
報告書 様式第6号 (共著論文の場合)	1通	申請者が学位論文につき、自己の担当部分について、記入すること。学位論文作成の中心的役割を果たしたことを詳細に記入のこと。
掲載受理証明書	1通	学位論文が未公表の場合のみ 必要。(コピー可)
推薦書 様式第8号	1通	
外国語試験合格証明書	1通	
研究歴証明書	各1通	研究機関の研究従事証明書。本学において教員等勤務のある方は、人事課の発行する在職期間証明書で可。
卒業証明書又は卒業証書の写し	1通	
論文審査手数料領収書の写し	1通	学位論文が受理されてから振込用紙を所属講座経由で送付する。申請時には必要なし。
医師免許証の写し(医師のみ)	1通	
住民票記載事項証明書	1通	
学位論文に関する宣誓書 様式第7号	1通	
学位申請時のチェックリスト	1通	
掲載誌のインパクトファクター	1通	Journal Citation Reports(JCR)提供の該当部分(直近2年)を提出すること ※インパクトファクターが2.0未満の場合は事前審査 (ただし社会医学系雑誌、日本医学会分科会の欧文の機関誌を除く)

令和8年4月1日 作成